

いい病院 2014

手術数でわかる

社会医療法人医真会グループ 医真会八尾総合病院



同院では救急も積極的に受け入れている。スマートフォンを活用した画像転送システムで、医師が院内にいないとも迅速な対応が可能

社会医療法人医真会グループ 医真会八尾総合病院

外来診療時間：月～金 9:00～12:00
※救急・急患は24時間受付。リハビリテーション科以外の外来診療は医真会総合クリニックにて行っています。
〒581-0036 大阪府八尾市沼1丁目41番地 TEL.072-948-2500(代) http://www.ishinkai.or.jp/

豊富な経験を生かした脳血管内治療を軸に 全身の血管をトータルで診断・治療する

全身の血管内治療に 豊富な経験を持つ

近年、脳動脈瘤や頸動脈狭窄のような、首から上の血管の疾患に対し、動脈瘤の中にコイルを詰めて固めるコイル塞栓術など、開頭せずに血管内から治療する脳血管内治療の重要性が高まっている。

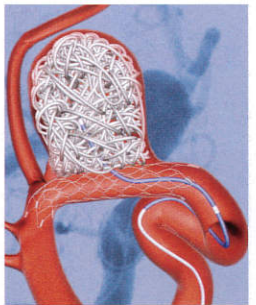
医真会八尾総合病院での治療に携わる、脳血管内治療科部長の高山勝年医師は、日本脳神経血管内治療学会認定脳血管内治療専門医だけでなく、日本医学放射線学会認定放射線科専門医の資格も持つなど、放射線科医としての経験も重ねてきた医師だ。もともと放射線科医は画像診断技術を生かし、皮膚から挿入したカテーテルを病巣部まで誘



脳血管内治療科部長 高山 勝年

たかやま・かつとし ●日本脳神経血管内治療学会認定脳血管内治療専門医、日本医学放射線学会認定放射線科専門医、日本脳神経血管内治療学会評議員、日本心血管脳卒中学会学術評議員

導して薬剤や治療機器を送り込む血管内治療（IVR）を専門的に行っている。高山医師は20年近くにわたり、脳動脈瘤を含めた全身の血管内治療を数多く実践しており、その経験を脳血管の治療にも生かしているのだ。「日本では脳神経外科医が外科手術と脳血管内治療の両方を行うことが多いですが、欧米では脳血管内治療だけで独立させた診療科（神経放射線科）の放射線科医が多く行っており、特化することで、より質の高い治療を実現しています」と例を挙げるように、治療を集中的に行うことが医師を含むスタッフの技術向上にもつながり、後遺症につながるような合併症も減らせるようになる。難易度が高い脳動脈瘤の再発例への治療や、脳



脳動脈瘤の中にコイルを詰めるコイル塞栓術。最近ではコイルを固定するためのステントも導入し始めた

梗塞を引き起こす頸部頸動脈狭窄症への最新治療「頸動脈ステント留置術」など、高度な治療も可能だ。
**PADへの治療を含め
全身の血管を診られる**

「例えば、頸動脈狭窄症は動脈硬化を原因とするため、他の部位の血管にも異常のある可能性があります。脳や頸などにこだわらず、全身を診ることが大切なのです」と、高山医師は、全身トータルでの診断・治療を常に心がけている。その一環として、足の血管が狭窄し、長時間の歩行ができなくなったり、安静時に疼痛が生じたりする疾患である「PAD（末梢動脈疾患）」の治療にも積極的だ。カテーテルで狭窄部位を広げて改善を目指すPADの治療はも



脳血管内治療は合併症を起こさないよう、細心の注意のもとで進められる

とも循環器内科や放射線科で行われることが多い。脳血管内治療科で行えるのも、全身の血管を診断できるからこその。それは結果として、「一般的に脳血管内治療は足からカテーテルを挿入します。もし閉塞していても、それを治療して頭部の治療へ移れます」と、脳疾患の迅速な治療にも役立つ。

「多くの患者さんの治療を通じ、地域における予防の取り組みがまだまだ不十分だと切に感じています」と、高山医師は今後、生活習慣指導や、市民公開講座での啓発活動などにも力を入れ、多くの人の疾患を未然に防ぐことを目指していくという。

取材／鈴木健太